



人間牧場主・年輪塾々長
若松 進一

南予博十連ポスターの波紋

今年の三月初旬、特急しおかぜで岡山へ行くためJR松山駅へ車で向いました。JR指定のキスケ駐車場に車を置き、駅に通じる地下道を歩いていると、高校生が十人ほど立ち止まって壁の掲示板を見ながら、何やらワイワイガヤガヤやっていました。高校生の視線の先をよく見ると、そこには南予博のキャンペーンポスターが十枚も張り出されています。南予を一枚のポスターに収めるのは難があると思いますが、10連とは大判振る舞いだなあと思いつながら、ポスターの一枚一枚を目でなぞるように、高校生とともに見ました。

ポスターは南予九市町十南予系中予一〇〇十市町のある部分を切り取ったように、今流行のドローン空撮という手法で

撮影したと思われるものでした。南予系中予に長年住んでいる私さえ、自分が造ることに関わりながら、これまで見たこともないようなシーサイド公園内の、恋人岬を上空から撮影した新鮮な表情の写真を見た時、これは面白いドラマが始まるかも知れないと思い、早速十人ほどの中に、双海町出身で顔見知りの高校生が一人いたこともあって割って入り、ポスターに書かれたキャプション項目を読みながら、「みんな、この街南予の何処か知っているかい？」と、クイズをやってみました。降って湧いた何処の馬の骨か分らないおじさんがいきなり声を掛け、しかもクイズまでするので、みな目を見つめながら、快く応じてくれました。

- ① 四国カルスト（日本ジオパーク認定）
- ② 双海恋人岬（しずむ夕日が立ち止まる町…）
- ③ 滑床渓谷（森の国…）
- ④ 西海・鹿島（マリンレジャーのメッカ…）
- ⑤ 広見川（清流四万十の支流…）
- ⑥ 佐田岬灯台（四国の最西端…）
- ⑦ 長浜大橋（初冬に肱川あらし発生…）

- ⑧ 天救園（伊達宗紀公が造った…）
- ⑨ 八日市・護国の町並み（白壁と木蝋のまち…）
- ⑩ 向灘のみかん畑（みかんと魚とちゃんぽんが有名…）

高校生は全員中予松山地区の、しかも親に連れて行ってもらったことがある内子の町並みや双海のシーサイド公園以外は、そんなに馴染みも縁もなく、観光で訪ねたこともない街なので、残念ながら結果は散々で、中には「滑床」「天救園」などの読み方の難しい漢字は読めない高校生もいました。「正解は①〇〇西予市、②〇〇伊予市、③〇〇松野町、④〇〇愛南町、⑤〇〇鬼北町、⑥〇〇伊方町、⑦〇〇大洲市、⑧〇〇宇和島市、⑨〇〇内子町、⑩〇〇八幡浜市です」と教えてやりましたが、私たちはこの結果をどう見ればいいのか、しよう。

主催者が目指す南予博のお客さんは、「中予の高校生ではなく、南予博の情報発信はポスターだけではないので!!」と言われればそれまでですが、果たしてそうなのか？と考えるみました。今回の南予博はどちらかというと工業地域東予、商業地域中予に比べ農山漁村地域の南予に位置する十の市町の個性ある自然や文

化、暮らし、産業などの特徴を、冬を除いたほぼ一年間をかけて訪ね歩く、回遊体験型のイベントです。足を運んでもらいたいのは中予や東予に住む県民だけでなく、近隣県外からも来て欲しいのであれば、ポスターにしるインターネットにしる、情報の発信は極めて重要なツールなのですが、ポスターは作ることに重きをなし、何処ことなく貼れば終わりという印象は拭えません。

先日別の会議で南予博の最前線である宇和島市の南予地方局に行った折、顔見知りの佐伯地方局長さんを訪ね、お願いして十連ポスターをいただいで持ち帰り、私の人間牧場・水平線の家の板壁に張りました。小さな私的な研修施設ですが、県内外から年間千人の人がやって来ます。貼った翌日からこのポスターは来場者の目に留まり始め、まだそんなに時間は経っていないのにこのポスターがご縁で、県内は勿論のこと近県広島や高知、大分からお客さんを招くことができました。ささやかながら民間人の私にでもできた貢献です。

ところで十連ポスターを人間牧場・水平線の家貼ってから、ポスターを見た多くの人から、「南予博に行きたいのだ

けれどどこで何をしているのかよく分らない」とか、「若松さんお勧めの南予の観光スポットは何処？」と、よく聞かれるようになりました。幸い先日パンフレットをいただいでいるので、私なりに説明をしています。お勧めスポットはあり過ぎて正直戸惑ってしまいます。十連ポスターで紹介されなかつた宇和島三浦半島水ヶ浦の段々畑や、沿線を巡る観光列車伊予灘ものがたり、季節の花々や豊かな地産食材を使った食べ物などは、とても好評のようです。

最近では情報の発信方法も随分進化して、南予各地を訪れる中高年の人たちがfacebookなどを使って盛んに情報発信や交流をしていて、ポスターやパンフレットといった既存のPRと違った効果があつて、あなどれない存在となつています。いずれにせよ温かくなつたこれからが南予博も本番を迎えるので、一例として県内の各高校に十連ポスターを掲示してもらい、高校生の夏休みを利用した小さな旅を誘ったり、金・暇・好奇心を持ち合わせた中高年、さらには近県にも期待して作戦を展開するのも悪くはないと思うのです。決め手は「また行きたい」と言わしめる南予人の素朴で温かいおも

てなしの心のようなのです。



日本一細長い佐田岬半島

「ドローン撮る 10連ポスター 庄巻だ
どこかワクワク 行きたい心境」
「高校生 今年の夏は 南予博
行って欲しいと 作戦展開」
「金と暇 加えて旺盛 好奇心
中高年齢 パワー全開」
「くれぐれも トイレだけでも
清潔に 口コミ加え facebookも」
(若松進一の実験談)